

日本の近現代史研究者が今、中国東北部を縦々と訪れている。「満鉄」
 「関東軍」「満州国」。
 日本のアジア地域への軍事進出の実態を知るのに必須の膨大な資料が、数年前から公開され始めたからだ。

中国は国家事業

中心は遼寧省、吉林省、黒龍江省などの各地にある檔案館。日本でいう公文書館だ。吉林省檔案館所蔵の満州(中国東北部)関係文書だけで六万数千巻。大半が日本にはない資料だ。
 「満鉄資料の整理収集は、国家プロジェクトで

アーカイブズ零年

失われる記録

文献後進国 現代史研究、外国頼み

苦い過去の歴史を自ら加速した傾斜生産方式で書き換える。近年一つにしても、政策に大きな成長を遂げ、国際るまでの過程が分かる一舞台での発言力を増した。次資料はない。
 重要な政治的課題だ。その出資する財団法人放送有力な武器を、アーカイブズと位置づけている。ブラリーはテレビの映像とミロが日本では、戦約一万番組を所蔵する。
 國、台湾も朝鮮総督府、前、戦中の公文書の多くが、英國放送協会(BB)情報学部教授は話す。台湾総督府時代の公文書は終戦前後に焼却されてC)の百五十万点超、米をこぞって公開し始めてしまった。日本近現代史のテレビ・ラジオ博物館。なぜ今なのか。の加藤陽子・東大助教は指摘する。「日本に資料がないのは戦前に限らずに発言権を持つことが指摘する。「日本に資料がないのは戦前に限らずに発言権を持つことが指摘する。「日本に資料がないのは戦前に限らずに発言権を持つことが指摘する。」
 「記録を持つものが歴史は指摘する。「日本に資料がないのは戦前に限らずに発言権を持つことが指摘する。」
 分かってきた。中国政話ではない。鉄鋼なものほどライブラリーへ「点と線」は連載十三回。戸分のうち五回分だけ。その記録を失うことに抵抗が少ない。
 海道大学助教は語る。中し、戦後日本の復興を村来子・駿河台大学文化れも九八年の松本清張記



北京市檔案館は4階以上がすべて書庫

念館オープンの際、旅行の折、当時の国立公文書会社の倉庫などから出て館を訪ねると「ほどなくきた。清張の作品は主要焼け野原になった前稿のなもので約百編とされる写真が数十枚出てきた」が、記念館が所蔵する直 外国人でもわずかな費筆原稿は約四十編。日本用で資料が手に入る。しでは、芸術作品を含め生かも日本の一地方の古い写真が。この落差は、いったい何なのか。
 今年六月、官房長官主宰の懇談会が、公文書の最近頻繁に使われる、保存体制整備へ報告書をアーカイブズという言葉まとめた。仕掛け人は福は、記録、古文書を意味する英語。ただ、それは田原夫前官房長官だ。
 福田氏には忘れられなほこりにまみれた文献をい体験がある。約二十年指すわけではなく、國家前、群馬県前橋市の学校 戦略を決める鍵にさえない法人に戦争直後の前稿のりつつある。欧米や中国、写真を探してほしいと依 韓国に後れを取る日本の頼された。調べても地元 現状と霧からの胎動を三にはなかった。米國出張 回に分けて追う。

建物の広さはサッカーコート十面分。見渡す限りの広い部屋に、膨大な文書が詰まっている。

職員の数2500人

米国ワシントン郊外にある「ワシントン・ナショナル・レコードセンター」。昨春秋、日本から視察にでかけた官房長官の私的懇談会メンバーは、このNARA(アメリカ国立公文書記録管理局)の「中間書庫」を前に思わず息をのんだ。

NARAの職員は全米で約二千五百人。その中心は、公的機関の記録の保管と整理をする「アーカイブス」だ。将来に残す資料は約五割。廃棄が九五割。資料を預けた連邦政府機関、連邦裁判所でも勝手

アーカイブズ零年

失われる記録

に捨てられない。その取捨選択は、アーカイブスの判断に任されている。「同じワシントンにあるアーカイブス・オブ・アメリカン・アート(A)画や素描に関するデー

「紙切れ一枚も五十年調運や資料寄贈の依頼に

後、百年後まできちんと残す。それが私たちの役

計書のミノル・ヤマサキ事務所が手掛けた模型

で、十三年前、その事務所の分刻時に廃棄寸前だった模型を入手。今年、十二万ドル(約千三百万円)をかけて修復した。米向

「欧米では博物館、図書館とともに、アーカイブスが、市民社会に欠かせない施設と言われてきた。しかし、日本では明治の欧化のとき、アーカイブスの整備だけが何故か抜け落ちてしまった。安藤正人国文学研究資料館教授は指摘する。アーカイブスの遅れは、日本の民主主義の危うさを象徴している。

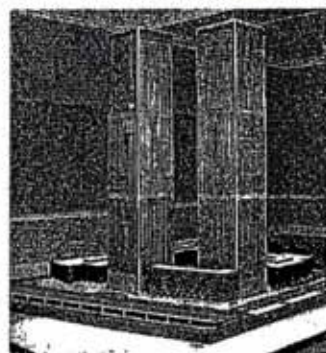
海外の現実 紙切れ一枚まで「救出」

AA)。十八世紀半ばから現代までの米國美術に関する資料ならば芸術家のスケッチブック、日記から面材や絵筆一本に至るまで、あらゆるものを収集・保存する。一九五四年の設立以来、現存アーカイブスのインタビュ

奔走する傍ら、失われた記録の「救出」にも取り組む。

ニューヨークのスカイスクレイパー博物館で展示中の世界貿易センタービルの模型もその一つ。歴史は、十八世紀のフランス

民主主義を象徴するパリには二〇〇五年一月シャイヨー宮に、五千五百四十三万ドル(約七千四百億円)を投じる巨大な建築博物館が誕生する。近代アーカイブスの歴史は、日本の民主主義の危うさを象徴している。



26階の高さを超える世界貿易センタービルの模型—撮影 Lee Stalworth © The American Architectural Foundation

福岡ドームにほど近い福岡市総合図書館。ここにはアジア諸国のフィルムを保存・収集する映像ライブラリーがある。

アジア映画保存

アジアには高温多湿や政情不安などの理由でフィルム保存がままならない国が多い。一九九一年から毎年、「アジアフォークス 福岡映画祭」を開催してきた福岡市は、そんな国々の監督の要望をくんで九六年、このライブラリーを設置した。収蔵する劇映画は五百十四本。東京国立近代美術館フィルムセンターに比べれば少ないのだが、

アーカイブズ零年

失われる記録

独自の試み なくした過去取り戻す

人の目から描いた秀生した。

昨年、マニラの国立施設で劣悪な保存状態にあったネガフィルムを、戦前の議会や内閣、司法

センターの構想は、村山政権時代に生まれた。行政改革などで何度も宙

などに開く公文書の記録を整理し、広く公開する。構想だったが、計画は

インターネットで世界中に生まれ八歳で被爆し、二年前に完成した機軸町

た。「原爆に背を向けて生きてきた」が、遠慮に「生きてきた」が、遠慮に「生きてきた」が、遠慮に

の再現は、映像作家で「ヒロシマ・グラウンド」の再現は、映像作家で「ヒロシマ・グラウンド」

約二百万円かけて再生。福岡にホジを保存した。

作品の調査、買い付け、上映企画を十年以上担った

てきた学芸員の八尋義幸氏は「地道に続けるうち

にアジアの人が福岡の名を知ってくれるようになった。今の活動が三十

五十年後に大きな意味を持つようになる」と話す。

東京・平河町の国立公文書館アジア歴史資料センターは、難産の末、誕

「神のいない三年間」(マリオ・オハラ監督、76年)

「神のいない三年間」(マリオ・オハラ監督、76年)

「神のいない三年間」(マリオ・オハラ監督、76年)



に浮く。その末に、文書始めた。小さなヒルの資料の収集を断念。国立四階にわずか職員十人。公文書館など三館の公文デジタル専門という発想

書のマイクロフィルムをの転換で、新たな道を切り開きつつある。

として二〇〇一年十一月、開設にこぎ着けた。

デジタル化された資料は現在、七百四十万画像。

原爆で、破壊され尽くした広島市。そこで被爆商店の看板から、人々の生家、文楽、ちやぶち

茶わん一つに至るまで、すべてCGで復元した。

この計画を推進する田辺雅章氏(66)は、爆心

の広島の街並み(右上がドーム)

の広島の街並み(右上がドーム)

に会い空白を少しずつ埋め、試みは、日本のアーカイブズに行く先に、一筋の光を投げかけている。

この連載は松岡賢明、藤田直子、田村広済が担当